

歴史資源の磨き上げと観光クラスター整備の取り組みの概要

歴史資源の磨き上げ

歴史資源の磨き上げの取り組み

- 各地域における集客の中核となる施設と関連する人物、人物にまつわる物語、周辺の歴史資源などを一体的に関連付け、しっかりと磨き上げる取り組み（歴史資源のリアル化）を行うことで、地域地域に本物が感じられる歴史資源を整え、将来にわたって活用できる歴史観光の基盤整備に取り組む。
- こうした取り組みを進めるにあたっては、全国的な知見を持ったアドバイザーも活用しながら、各市町村と県が協働で歴史資源のリアル化計画を策定し、県の支援のもと、各市町村を中心に整備を進める。

歴史資源の磨き上げの考え方

- ア 施設周辺の資源も掘り起こし、施設とその周辺も含めて本物の歴史資源、史跡、資料等を見せること。
- イ 本物の史跡や展示物が、時代を超えてリアルに感じられるよう、時代背景や資源の持つ意味が連続性を持って詳細に説明されていること。
- ウ 対象者の年齢、嗜好、目的に応じた展示、解説ができていないこと。（外国人対応も含む。）

周遊コースづくり（観光クラスターの整備）

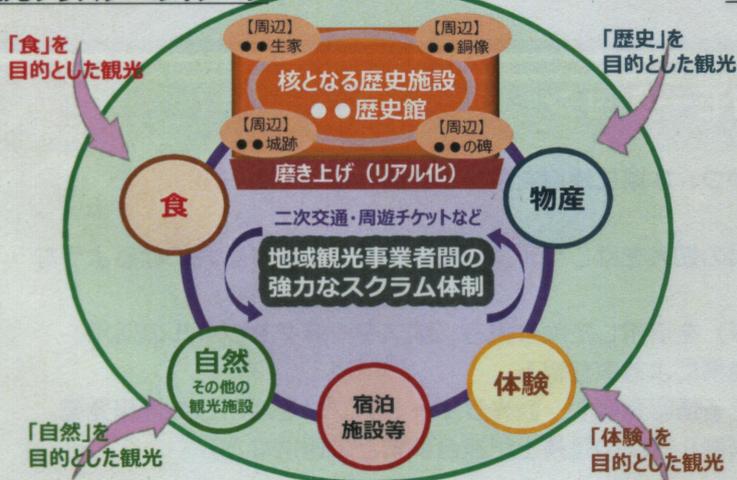
観光クラスター整備の取り組み

- 博覧会の取り組みを通じて磨き上げた歴史資源と、地域の「食」や「自然」などが一体となった周遊コース（観光クラスター）の整備を行う。
- こうした取り組みを進めるにあたっては、市町村を中心に、広域観光組織や、民間事業者等が連携した協議会（観光クラスター協議会）を設置し、全国的な知見をもったアドバイザーも活用しながら周遊コースの整備を進めることで、博覧会終了後の継続可能な仕組みづくりに取り組む。
- 広域での周遊コースの整備にも取り組む。

クラスター形成の要件

- ア 原則、歴史拠点やその周辺の観光資源で形成され、一体として運営できる仕組み（地域ごとの観光クラスター協議会など）ができていないこと。
- イ クラスター内を周遊できる仕組み（二次交通手段）を有していること。
- ウ 各施設（宿泊施設等、飲食店、体験プログラム、土産物店）等が連携し、相互に情報提供を行い、誘導ができること。
- エ 連携する飲食店や土産物店では、その地域ならではの「食」や「産品」を提供していること。
- オ 地域会場においては、外国人観光客への対応ができていないこと。

観光クラスターのイメージ



観光クラスター整備の推進体制

観光クラスター協議会（仮称）

事務局 市町村

【推進のためのプレーヤー】

観光施設、宿泊施設、飲食・物産施設
体験プログラム事業者 交通事業者 ガイド団体等

支援

【推進のためのサポート役】

県
各地域本部
広域観光組織
高知県観光コンベンション協会
県派遣アドバイザー